

古河電気工業株式会社

<検証の目的>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV）は、古河電気工業株式会社（以下、組織）より、「2024 年度古河電工グループ環境保全データ報告書 第 4.0 版（2024 年 7 月 22 日）」（以下、報告書）に関して、第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張する温室効果ガス排出量算定結果に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

<検証の範囲>

検証の範囲は、2023 年度における組織、及びそのグループ企業全体（海外拠点を含む）の GHG 排出量のうち、Scope 1、Scope 2、及び Scope 3 の一部（Category1,2,3,6,7,11,12）である。

<算定・検証基準>

検証対象である GHG 排出量の算定・報告の基準は、組織の定める「古河電工グループ 環境保全データ算定報告ガイドライン 第 2.2 版（2024 年 7 月 3 日）」、GHG プロトコル（改訂版）、GHG プロトコル 企業のバリューチェーン（スコープ 3）の算定・報告基準、環境省・経済産業省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(ver.2.6)」である。また検証の基準は、ISO 14064-3:2019 および ISAE3000（改訂）である。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性は GHG 算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、報告書に報告されている GHG 排出量の主張に関して、同社の GHG 排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。なお DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。

場所・日時：日本・神戸、2024 年 07 月 23 日

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Akira Sekine
Approved Verifier

Tsuyoshi Katori
Approved Verifier, Technical Reviewer

Naoki Maeda
Representative Director/SCPA
Senior Vice President

<算定及び検証の対象期間>

GHG 排出量検証の対象期間は、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までである。

<組織境界>

支配力基準 出資比率基準 その他の基準

<検証された GHG の種別>

CO₂ CH₄ N₂O HFCs PFCs SF₆ NF₃

<検証された GHG 排出量>

DNV の検証意見として GHG 排出量は、現実性・透明性・測定可能性があるものである。下記排出量はすべて検証済みである。

■ 直接排出 (Scope 1: CO ₂)	105,069 t-CO ₂ e
■ 直接排出 (Scope 1: SF ₆)	41,574 t-CO ₂ e
■ エネルギー由来の間接排出 (Scope 2: Location-based)	461,399 t-CO ₂ e
■ エネルギー由来の間接排出 (Scope 2: Market-based)	345,964 t-CO ₂ e
■ その他の排出 (Scope 3)	3,106,081 t-CO ₂ e
■ Category 1 (購入した製品・サービス：銅材およびプラスチック)	1,272,140 t-CO ₂ e
■ Category 2 (資本財)	136,725 t-CO ₂ e
■ Category 3 (燃料及びエネルギー関連活動)	102,169 t-CO ₂ e
■ Category 6 (出張)	6,858 t-CO ₂ e
■ Category 7 (雇用者の通勤)	24,817 t-CO ₂ e
■ Category 11 (販売した製品の使用：光通信用モジュール類、ネットワーク機器類、自動車用部品類、蓄電池)	1,482,299 t-CO ₂ e
■ Category 12 (販売した製品の廃棄：光通信用モジュール類、ネットワーク機器類、自動車用部品類、蓄電池)	81,073t-CO ₂ e

<検証意見>

- 無限定適正意見
 限定付適正意見
 不適正意見